

## 岩手県の鋼矢板切断状況について（報告）

### 1 経緯

- 令和3年6月に開催された岩手県の第82回協議会において「鋼矢板は残置する工作物とし、地下埋設部は残置するが、地上露出部は景観に配慮して原則切断する」という案が了承された。
- 岩手県から本県に対し、当該案について意見を求められたことから、令和3年10月19日開催の第67回本県協議会において協議し、岩手県の切断案を了承した。
- 岩手県では本県の了承が得られたことから、令和4年4月以降の鋼矢板切断工事に向けて準備を進めてきた。

### 2 鋼矢板切断工事の進捗状況

切断工事は令和4年4月4日から開始し、4月22日に鋼矢板地上露出部分の切断を完了している。

現在の現場の状況は以下のとおり。



### 3 今後の予定

岩手県では今後、法面整形及び表流水を岩手県に導水するためU字側溝の設置工事を進めることとしている。